

中学校社会科（地理的分野）学習指導案

中学校 2年 組 名

1 単元名 「近畿地方」

2 単元設定の理由

①教材観

本単元は、学習指導要領（平成 29 年告示）における、地理的分野の内容 C「日本の様々な地域（3）日本の諸地域」に位置付けられる。本単元では、学習指導要領に示された「①自然環境を中核とした考察の仕方」に重点をおいて授業展開を行う。近畿地方は他地域からの人口の流入や産業の発展により、他地域と比較しても経済的に大きく発展している地域である。また、紀伊山地には豊かな森林が広がっており、沿岸部では漁業もさかんで、自然環境豊かな地域でもある。加えて、古くから日本の都として栄えた地域でもある京都府、奈良県には、美しい歴史的景観が多く残っている。その一方で、工業化や人口増加に伴う環境問題も深刻化し、産業の発展により歴史的景観が失われるという問題もある。また、林業従事者の高齢化、後継者不足などにより、荒れてしまう森林が増え、魚介類の取りすぎや過度の養殖による水質汚濁が原因で、水産資源が減少するなどの問題も生じている。しかし、近畿地方の人々は、自然環境や歴史的景観を保全するため、継続的に様々な取り組みを続けてきた。その近畿地方の地理的特色や自然環境を保全しようとする人々の想いや取り組みについて学ぶことは、持続可能な社会を築こうという気持ちや、主体的に学び、他者と協力しながら対話的に物事を解決しようとする態度を育成することにつながると思う。

②生徒観

本学級の生徒は、日々の授業や学習に意欲的に取り組んでいる生徒が多い。既習の日本の諸地域「九州地方」や「中国・四国地方」においては、自然環境、農業や工業などについて、資料の読み取りを多く行い、学習課題を多面的・多角的に考察し、表現する力を高めてきた。しかし、このような資料の読み取り、様々な事象と関連付けて思考、表現することが苦手な生徒も多い。そこで、今後の学習においても、資料をもとに生徒自らが社会的な見方・考え方を働かせて考察する学習活動を継続的に行っていきたい。

③指導観

GIGA スクール構想の推進により、本校ではインターネット環境が整備されると共に、生徒に一人一台タブレットが配布され、各教室にモニターや実物投影機が設置されるなど、ICT を活用する上での環境に非常に恵まれている。本単元でも効果的な資料の提示や資料を読み取り、自分の考えを表現したり、他者と意見交換したりする際にタブレットを有効活用し、生徒の思考力・判断力・表現力を高めていきたい。また、生徒が住む〇〇市は豊かな森林に恵まれ、林業がさかんな地域であり、森林を保全する取り組みが行われている。自分たちが住む地域の林業と近畿地方の林業を関連付けることで、環境保全の取り組みを身近に感じさせるとともに、考えを深めさせたい。

3 単元の目標

- 地図や資料を活用し，近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全などに関連する他の事象を読み取る技能を身に付け，近畿地方の地域的特色を理解することができる。【知識・技能】
- 自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを，人口の分布や住民の生活および産業の変化などに関連付けながら多面的・多角的に考察することができる。【思考・判断・表現】
- 近畿地方について，よりよい社会の実現を視野に，自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を，主体的に追究しようとすることができる。【主体的に学習に取り組む態度】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地図や資料を活用し，近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全および，関連する他の事象を読み取る技能を身に付け，近畿地方の地域的特色を理解している。	自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを，人口の分布や住民の生活および産業の変化などに関連付けながら多面的・多角的に考察している。	近畿地方について，よりよい社会の実現を視野に，自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を，主体的に追究しようとしている。

5 指導と評価の計画（全5時間）

- 単元名 近畿地方（全5時間）
- 内容のまとめり C 日本の様々な地域

（○：評定に用いる評価，●：学習改善につなげる評価）

単元を貫く問い 私たちの生活と環境保全はどのように関連しているのだろうか。					
【ねらい】近畿地方の地域的特色や環境保全の取り組みについて理解し、持続可能な地域づくりのために考察することができる。					
時間	ねらい・学習活動	評価の観点			評価基準等
		知	思	態	
第一次 （1時間）	【学習課題】近畿地方の地形や気候には、どのような特色がみられるのだろうか。				
	・近畿地方の気候が北部・南部・中央部で異なる理由を、近畿地方の地形かの特色から考察し、説明する。		○ ●		・近畿地方の気候の特色を、雨温図で示された都市の位置から考察させ、3つの地域に分けて説明しようとしている。 （ワークシート、観察）

第二次 (1時間)	【学習課題】京阪神大都市圏の水源である琵琶湖とその周辺では、環境保全のためにどのような取り組みが行われてきたのだろうか。			
	・琵琶湖と淀川の水質保全が重要である理由を資料から読み取り、まとめる。	○ ●		・琵琶湖と淀川の水質保全が重要である理由を資料から読み取ってまとめている。 (ワークシート, 観察)
第三次 (1時間)	【学習課題】阪神工業地帯では、環境問題に対してどのような取り組みが行われてきたのだろうか。			
	・阪神工業地帯では、環境問題に対してどのような取り組みを行ってきたのか、教科書や資料をもとにまとめ、理解している。	●		・阪神工業地帯の臨海部の工業地帯の変容を、環境対策の視点などから理解している。 (ワークシート, 観察)
第四次 (1時間)	【学習課題】京都と奈良では、歴史的景観を保全していくために、どのような取り組みが行われているのだろうか。			
	・京都や奈良の人々が、歴史的な景観や文化財の保全に取り組んでいる理由について資料を参考に考察し、まとめる。	○ ●		・京都や奈良で、歴史的景観を保全する取り組みが行われている理由について資料を参考に考察し、まとめている。 (ワークシート, 観察)
第五次 (1時間)	【学習課題】私たちの生活と森林保全は、どのように関連しているのだろうか。			
	・林業の課題とその対策について理解を深めると共に、私たちの生活と森林保全がどのように関連しているのか、諸資料から捉え、多面的・多角的に考察し、表現している。		○ ●	林業の現状と課題について資料をもとに理解し、今後の課題や対策、森林保全の重要性について、多面的・多角的に考察することができる。 (ワークシート)

6 本 時

(1) 目 標

林業の課題とその対策について理解を深めると共に、私たちの生活と森林保全がどのように関連しているのか、諸資料から捉え、多面的・多角的に考察し、表現することができる。

(2) 展 開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
5 分	1 写真を見て、本時の課題を把握する。	○土砂災害の特徴について、 パワーポイントを使って復習する。		
	【学習課題】私たちの生活と森林保全は、どのように関連しているのだろうか。			
15 分	2 紀伊山地の特徴や森林の役割、林業について知る。	○パワーポイントや MetaMoji を使って、資料をもとに説明する。		
5 分	3 林業の課題を把握する。	○資料を提示し、林業の課題について考えさせる。	林業の課題を把握している。	ワークシート
15 分	4 各班で林業の課題の対策を考える。	○班ごとに考えさせる。 ・4つの視点（企業・行政・住民・地域とのつながり）について各班一人1項目を考えさせる。 ・フィッシュボーン図を活用する。	林業の課題の対策について、多面的・多角的に考察している。	MetaMoji シート
10 分	5 本時のまとめをする。 ・森林を保全することが私たちの生活を守ることにつながることを確認する。	○本時の振り返りをさせる。 ・森林を保全することが私たちの生活を守ることにつながることを考えさせる。	私たちの生活と環境保全がどのように関連しているのかを理解している。	ワークシート

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	私たちの生活と森林保全がどのように関連しているのか、諸資料から捉え、林業や森林保全の重要性について、多面的・多角的に考察し、表現している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	私たちの生活と森林保全がどのように関連しているのか、諸資料から捉えることができるよう、MetaMoji を活用して資料の見方や表現の仕方を個別に指導する。

